

【平成 21 年度】第 2 回図書館協議会の会議録

- 日 時：平成 21 年 12 月 21 日(月) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- 場 所：図 書 館 三階保育室
- 出席委員 (敬称省略)：濱田 友助、 浜口 貞美、伊藤 眞由美、中山 潤一、
(8名) 野村 恵、小茂田 茂、 河永 光代、樋口 美佐子、
望月 寛子
(欠席者) 渡辺みどり
- 市 教育委員会 側：和田副参事 (事) 所長、千葉主幹、三宅館長、駒村主査
(6名) 事務局 高瀬担当
- 会 議 傍 聴 者：1名
- 使用資料：① 指定管理者制度の導入について
(別紙参照) ② 八千代市立緑が丘図書館の視察結果
③ H21 年度版 「鎌ヶ谷市の図書館」

【第2回鎌ヶ谷市図書館協議会】

<会 議次第>

1. 開 会
2. 挨拶 (委員長・生涯学習推進センター所長)
3. 第 2 回図書館協議会の議事
【議 題】① 指定管理者制度の導入について
4. 【報告事項】① 八千代市立緑が丘図書館の視察結果について
② 平成 21 年度版「鎌ヶ谷市の図書館」について
5. 【そ の 他】
① 次回会議の日程について
6. 閉 会

(1) 第 2 回 図書館協議会の会議概要

1. 開 会 2. 挨 拶

○委員長(濱田委員)=本日の議題は、指定管理者制度であり、内容説明を依頼した件でありますので、委員の皆様もご承知のほどお願いいたします。

○生涯学習推進センター所長(和田)=市は、健全財政への建て直しを進め、平成 21 年 2 月に「公共施設再編計画」を策定し、その結果、図書館は平成 23 年度から指定管理者制度を導入することになった。

今後は、制度導入に向けた作業を進めてまいります。図書館協議会委員と一緒に「今後の図書館をどうしていくのか」「指定管理者制度を取り巻く問題、5年の期間、どういった仕方で図書館運営をしていくのか」といった意見を聞きながら検討していきたい。また指定管理者制度の導入経過は逐次報告します。

◎第2回会議の議事録署名人の指名

決めた順番に従い＝中山委員、野村委員（渡辺委員は欠席なので）の2人

3. 第2回図書館協議会の議事

【議 題】① 指定管理者制度の導入について（図書館長説明）

市は、平成21年2月に「公共施設再編計画」を策定。その中で、図書館は、平成23年度から「指定管理者制度の導入」施設と位置付けました。

平成15年に策定された「行財政改革推進計画（鎌ヶ谷行革アクションプラン）」において、公共施設、図書館改革の一環として「指定管理者制度の導入」が目標設定され、平成16年度に図書館では検討を行い、段階的に取組むこととし、平成17年度より図書館業務の一部を民間委託してきました。

この業務運営は、利用者からの評価も高く、委託業務にも不備が見られないことから、毎年委託契約を更新し今年で5年目を迎えています。

今後は、更なる図書館サービスの向上を図るとともに、効率的且つ効果的な管理運営による経費等の削減を視野に、鎌ヶ谷市が進めている行財政改革の意に添った行政運営を確立していくために「指定管理者制度」を導入し、新しいスタイルの図書館を構築していきたいと考えています。

ここで、「指定管理者制度」について簡単にご説明させていただきます。

「指定管理者制度」は、平成15年9月2日、地方自治法の一部を改正する法律が施行され、民間事業者のノウハウを幅広く活用するとともに、市民サービスの向上や行政コストの削減を図ることを目的として創設された制度です。

それまでの「公の施設」管理は、公共団体や公共的団体、地方公共団体が設立した出資法人等に管理運営を委託する方法（管理委託制度）に限られていましたが、指定管理者制度の導入により、民間企業のほか、NPO法人や地域住民などで構成する団体等も参入することが可能となり、各施設の特性に応じた運営がより柔軟に行えるようになりました。

公の施設を民間に任せるとはいえ、「指定管理者」が行う業務の範囲や実際に管理する上での基準については、条例で定めそれに従う事となるなど、公の施設の適正な管理を確保するための仕組みが整備されており、基本的なことは市が決定いたしますので、適正な管理は確保されます。

【質疑応答】

- 1、現在の業務委託の状況について、どんな内容が委託され、市の業務はどんな内容か？また、市の職員構成と職種(司書＝専門職)の状況と、委託業者職員との業務分担は？

【回答】

現在、業務委託は入札により「すばる書店」に委託し5年経過した。業務委託の内容は、資料の貸出しや、窓口対応、利用者の質問や相談対応、お話し会などの各種行事の

開催などを委託している。市の業務は、運営方針の決定や、予算の編成管理、図書の選書決定、県内外の図書館との連携、行政機関との連絡調整などが主な仕事です。

また、職員構成は、正規職員3名、一名育児休暇中のため臨時職員1名、非常勤職員1名、再任用職員2名で対応しております。

2、図書館での新本の選書は、どうなっているのか？

【回答】

市は、資料収集基準を制定し、司書資格ある委託業者と市職員とで、一般書は週1回、児童書は月に2回、選書会議を開催し、収集基準に基づき決めています。

3、話が早すぎて、メモしきれない—委託内容をもう一度話してほしい。

【回答】

窓口貸出返却業務、レファレンス業務（利用者の質問や相談対応）、お話し会や講演会などの事業運営です。

市の業務は、運営方針の決定や、予算の編成、執行管理、図書の選書方針の決定、図書の選書・除籍、県内外の図書館や行政機関との連絡調整、施設の維持管理業務などが主な仕事です。

4 17年度より図書館協議会委員をやっているが、指定管理者制度導入は一度も聞いていなかった？また、学校図書館との連携はもっと必要と考えるが…どうか？

【回答】

経過的には、平成15年に「指定管理者制度の問題」が出て、図書館でも検討しました。平成16年度に「今後の図書館のあり方」という形で（協議会へ）諮問いたしました。今後の図書館はどういった形で運営していったらよいのかといった内容でして、（協議会からも）答申をいただいております。

この答申の中で、指定管理者に移行させるにはもう少し検討する必要があるとのことから、平成17年度から業務委託で対応してきた経過にあります。

ネットワーク推進や学校との連携は、図書館独自でできないので、学校側の体制作りも必要なので、今後も積極的に取り組んで行くつもりです。

5、指定管理者制度は、財政厳しい中で行うとのことだが、市民生活のサービスの低下につがらないか？

【回答】

業務委託を導入した結果は、様々な点で従前より市民サービスは向上し、また利用者アンケートの結果は、従前より良好との評価を受けています。

委託業務から指定管理者制度に移行させても、業務内容は基本的に変わらない。図書館の施設内に市職員がいるかないかだけである。核となる業務は、あくまでも市業務として行っていくしますので、サービスの低下にならないよう対応してまいります。

6、鎌ヶ谷市の図書の貸し出しは、一人3冊程度ですが、TV番組（TBSH21年11月24日放送）で長野県富士見町では一人当たり20冊。鎌ヶ谷市も委託業務になった平成17年からは少し増加しているが、さらに利用者が増加するようしてもらいたい。（要望）

- 7、 23 年度からの指定管理者導入に1年間で準備できるのか？大丈夫と思える内容を共有できるような情報を提供していただけますか？

【回答】

指定管理者制度導入の手続き、内容は逐次ご報告してまいります。指定管理者制度は、すべての業務を丸投げして業者委託するものではなく、業務内容は定期的に業者との打ち合わせや、市の意向を反映させる事もできる内容です。

- 8、 市では、指定管理者制度の導入の方針を決めて、すでに議会にも報告したりして、進めていくようですが、財源不足だから公共施設をどんどん変えていくと言われると疑問が残る。

法律で定められた図書館の役割と言う原点に戻って、国民が無償で知る権利を行使できる施設、正確な情報を幅広いジャンルに渡って提供する施設が、公共図書館の使命であります。生涯学習部に図書館が配置されている意味もそこにあるように思います。

親しみやすく、利用しやすい施設であることが図書館の第1使命です。高齢者も、子育ても、障害者も、あらゆる国民に知る権利を提供している施設が図書館です。そして、その図書館で活動しているボランティア団体の存在が大きいんです。そして、その方々が活動しやすいようにしていくことも大事なことです。委員になって驚いたことは、鎌ヶ谷市では、こうした図書館ボランティアの方々のいろいろな活動が、幼児や学童の読書への関心など図書館と連携し、実績をあげていることです。そして、心配な点は、学校司書はまだ不足しているな…と感じております。図書館サービスにおいては、専門職や司書は、大事な存在と言えます。

そこで、指定管理者制度を導入しても、市民サービスの停滞や低下をさせない、みんなが望む方向に向かっていくと思える構想を策定することが大事であります。構想、目標は抽象的な表現では、だめだということです。そこで質問します。

【質問1】 資料の基本方針に「こうした現状を踏まえ、さらなる図書館サービスの向上を図るとともに、効率的且つ効果的な管理運営による経費等の削減を視野に…」とあるが、『さらなる図書館サービスの向上』『効率的且つ効果的な管理運営』とは具体的にどんな内容ですか？

【質問2】 資料の3. 許可権限の付与についての「(4)その他、鎌ヶ谷市教育委員会が必要と認める事業が」よくわからない。委託するとき、市側の窓口を明確にしておくことが必要です。そして、その窓口で専門職はいるのかと言う事がないと今までの市民活動ボランティアの方々との関係が切れてしまう。そういう不安がつきまとうので、①市組織部署の窓口はどこか？ そして②この図書館協議会はどうなるのか… ③図書館ボランティアの方々の活動が、活動しやすい環境は、どうしていくのかお答えください

【回答】

委員の意見は、貴重な意見として受け止め、今後、取り組んでいきます。現在、市民サービス面で、図書館本館の機能は充実してきておりますが、5つの分館のサービスの面では充分でない点もあり、今後の拡大していく課題と考えております。また、図書館ボランティアの方々には、日ごろからご協力いただいております。他市で指定管理者制度導入後も図書館ボランティアの方々と良好に連携しており、鎌ヶ谷市としてもこれまでと

同様に継続していけるよう取り組んでまいりたいと考えております。

9、今、委員からもご質問があったように、この図書館協議会はどうしていくつもりか？

【回答】

今後も図書館協議会の運営の中で反映させていくつもりであり、指定管理者制度の導入は、委託業者に丸投げするのではなく、選定条件の中で業者選定していく内容ですので、鎌ヶ谷市の図書館ではどういった内容を示していけるかが大事です。協議会の意見をどう反映して、あるべき委託内容を示していけるのかと思っております。

10、これまでは、市職員だから…と市民も受けとめていたが、民間企業となると、より厳しい目で、市民も、貸出やサービスも向上していかないとならないと思われるので、充分にその辺も留意して進めてもらいたいし、協議会委員もしっかりとこの経過を見ながら、意見を言う必要があると思います。

【議長より意見まとめの方策】

今までの意見や、今後も何回かの会議での意見を精査しながら、今後の図書館運営の方向性を、委員が指摘した具体的な表現も留意しながら、提示してまいりたい。そうした中で、図書館協議会としてまとめた意見としてまいります

11、先日、視察した八千代市ではブックスタート制度(0歳児の取り組み)がなかったようですが、鎌ヶ谷市では、健康増進課の保健婦さんと図書館職員、そして図書館ボランティアの方々が連携して、生の声で語りかけるブックスタートやお話の会がすでに何年も継続できていて、効果も上がってきています。赤ちゃんの本は、八千代市よりも鎌ヶ谷市の図書館の方が断トツに蔵書数が多く、また充実していました。1つの事業に、市の様々な分野と図書館ボランティアの方々が連携・協力しあうことで「ブックスタート制度」も実行できるし、より充実してきています。

「ブックスタート制度」も行革アクションプランから生まれてきているんです。それまでは、アルバムと市の木を生まれた赤ちゃんに配るだけだった。その費用を見直したお金で、赤ちゃんとお母さんに読み聞かせをしながら、本を手渡しする「ブックスタート制度」を開始した。その結果、乳母車の若いお母さん達が図書館に来るようになったんです。

こうした、鎌ヶ谷市の素晴らしい取り組みは、今後、指定管理者になった後にも、学習センターで兼務や片手間に行える内容ではないので、今後の図書館のあり方や、システムについて、十分に検討策定していかないといけないと思います。

12、国の事業仕分けでもあったように、お金がないからカットするのは、これまでの努力が無になってしまう。鎌ヶ谷だけでも、ここだけは頑張るぞ…と言った事がないとだめではないかと思っておりますが…どうですか？

【回答＝館長】

鎌ヶ谷市の指定管理者制度の導入は、厳しい財政事情からの取り組みではありますが、導入にあたっては、あくまでも市民サービスの向上をめざした導入でありますので、ご理解のほどお願い致します。

議長＝今、委員の意見は、指定管理者制度導入するためには、様々な意見が大事ではないか…との事ですが、指定管理者制度の導入していくなかで、図書館にとって、こういう事が大事ではないか…と言うような意見をこの協議会の中でまとめていけば良いですか？

【回答】

指定管理者制度の導入の手続きに関しましては、スタートの時期が平成23年度から…と公共施設再編計画では決められていますので、作業は、22年3月より進んでいくことになります。3月に手続きを進める意思決定を行い、平成22年度4月当初より、条例の一部改正やその他の手続きも進んでまいります。来年2月頃にはもう少し詳しい内容が話せるのでは…と考えております。

議長＝今、来年の2月頃に図書館協議会を開催するとの事ですので、その時にまた委員各位のご意見をお聞きしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

要は、市民サービスの向上ができるかどうか？また指定管理者制度に移行して、市民の不安が起きないだろうか？そのあたりの事が大事ではないのかな…と思います。

市の方も、これまでの意見なども踏まえ、今後のあり方がもう少し具体的な内容でたたき台が提示できるかどうか…とっております。そのたたき台案も簡素にまとめればよいのかな…とっております。私も小学校の「学校だより」で、あまりたくさん書いても読んでもらえない。ですからどんどん校長と教頭で削除し、わかりやすくしています。

それでは、ご意見を各委員もそれまでにまとめていただけるようお願いいたします。

13、図書館協議会も年3回開催と決まっておりますが、今回のように臨時的に開催するように、来年度の定期開催以外でも、何回も開催して「あるべき提言」が出せるようにしていただきたいと思っております。

【回答】

それについては、（進捗状況もあり、）考えさせていただきたいと思っております。

4、(報告事項)

○「八千代市緑が丘図書館への視察した結果報告」

- 緑ヶ丘の街は、マンション群の街で、駅も大きく立派な駅でした。緑ヶ丘図書館もマンション群と同一、一体的に見える建物で、図書館と公民館が併設されている建物でして、八千代市の図書館は、地区ごとの4図書館で構成されていました。
- H16年の新しい図書館だけにインターネット、使いやすい、見やすい図書館でした。しかし東京志向の市民要望は、とても強く多いとの事です。
- 赤ちゃん絵本の分野ではまだまだのように感じました。
- 「図書館サポーター」のような市民協力者がいるそうです。
- 八千代市では、これまで県立図書館ができる予定であり、市は地区館で構成してきましたが、財源厳しいと県立図書館は中止され、今後、市で中央図書館を造っていくことが最大の関心事との事です。
- インターネットで新聞の検索、病闘記コーナー、受験・進路コーナーなど工夫した図書の配置をしていました。

- 八千代市には4図書館があるが、八千代緑が丘図書館は「調べ学習ができる図書館」として、同種類の本を収集し、どこの館にはどんな図書が集まっているかなど、検索調べができるようになっていました。
- 新聞のバックナンバーや、薬の効用の調べをしたり、「困ったら図書館へ」をモットーに、とても市民には利用しやすい図書館だと思いました。
- 八千代市の「困ったら図書館へ行こう」との取り組みは、鎌ヶ谷市の図書館でも取組んでもらいたい。

○平成20年度の事業報告報告(駒村主査)

「平成20年度の事業報告書」が出来上がった事から、資料にもとづき主要な箇所、要点について、かいつまんで説明する。

5、次回(会議と日程)について

委員のご都合を確認した。その結果=平成22年2月15日(月)午後2時より

6、閉 会

(会議録署名人)

以上、会議内容に関する記載に相違ないことを認めます。

平成22年 1月23日

氏 名 中山 潤 一

氏 名 野 村 恵